

# 仕事納め市長挨拶

日 時 平成24年12月28日（金） 16:30

---

平成24年の仕事納めに当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

職員の皆さん、今年1年間、大変、御苦勞様でございました。

冒頭にこのような話をしなければならないのは残念ですが、御承知のとおり、昨年に続き、今年も本市職員による不祥事が相次ぎました。

本市では、昨年7月の情報漏えい事案を受け、新しい不祥事防止策に基づき、再発防止に努めていたところでしたが、今年4月には、市営住宅内の樹木伐採等工事に関する不適切な契約事案が、また、5月には、酒気帯び運転による交通事故が、さらに8月には、ひき逃げによる道路交通法違反の事故などが発生し、昨年から合わせて3名の職員が懲戒免職処分を受けたことは残念でなりません。

言うまでもなく、このような事態は、本市行政に対する市民の期待と信頼を大きく裏切るものであります。失われた信頼を取り戻すのは容易ではありません。職員の皆さんには、自分には関係ないことと決して思わないでください。組織全体の責任であるとの認識の下、職員一人一人が自覚を持って、今後、市民の皆様の信頼回復に向けて取り組んでいただきたいと存じます。

さて、この一年を振り返ってみますと、政治の世界では、昨年3月に発生した東日本大震災や急速な円高の進行、欧州財政危機の影響などを踏まえ、今年7月に国家戦略会議において「日本再生戦略」を策定し、8月には消費税増税を柱とした社会保障と税の一体改革関連法が成立したところでございます。

また、去る16日には、衆議院議員総選挙が行われ、3年4か月前に国民の大きな期待感の中で誕生した民主党政権が幕を閉じ、代わって自由民主党を中心とした新政権が誕生しました。新政権には、早期に金融政策を始め、規制緩和などの成長戦略や社会保障制度の安定などに早期に取り組むとともに、真の地方分権改革のより一層の推進を強く期待しております。

一方で、社会の分野では、<sup>やまなかしんや</sup>山中伸弥京都大学iPS細胞研究所長が、ノーベル医学・生理学賞を受賞するという快挙がありました。また、ロンドンオリンピックでは、日本選手

団が活躍し、史上最多のメダルを獲得しました。あわせて、レスリング女子世界選手権10連覇、オリンピック3連覇を果たした、吉田<sup>よしだ</sup> 沙保里<sup>さおり</sup>選手が国民栄誉賞を授与されたという、社会に希望をもたらす明るい話題も多くありました。

このような状況の下、本市では、「第5次高松市総合計画」で掲げております目指すべき都市像「文化の風かおり 光かがやく 瀬戸の都・高松」の実現に向け、六つのまちづくりの目標の下、第3期まちづくり戦略計画を策定し、各種施策に取り組んできたところでございます。

今年実施した事業を振り返りますと、まず、まちづくりの目標1「心豊かな人と文化を育むまち」では、来年開催される瀬戸内国際芸術祭2013のプレイベントとして、多くの市民の参加をいただき「現代源平屋島合戦絵巻」を開催し、源平合戦の舞台となった屋島・檀ノ浦の魅力を広く発信したほか、「街角に音楽をフェスティバル in 高松」や「たかまつ大道芸フェスタ」を開催するなど、広く市民の芸術文化への関心を高め、まちかどに芸術のあふれる文化芸術都市「アート・シティ高松」の推進や中心市街地のにぎわいを創出しました。

また、小・中学校の施設を一体的に整備する塩江地区学校統合事業において、建設工事に着工したほか、引き続き、小、中学校に特別支援教育サポーターや、学校図書館指導員などを配置し、学校教育の充実に努めました。

次に、まちづくりの目標2「人と環境にやさしい安全で住みよいまち」では、東日本大震災の教訓を踏まえ、「津波避難ビルマップ」を作成したほか、本市の防災・危機管理に関する対応力と業務維持能力を高めるため、常設の災害対策本部機能、消防局機能、上下水道局機能等を集約した、高松市危機管理センター（仮称）等の基本的考え方や整備方針などを盛り込んだ「高松市危機管理センター（仮称）等基本構想」を策定しました。

次に、まちづくりの目標3「健やかにいきいきと暮らせるまち」では、香川県農業試験場跡地に高度で専門的な医療を提供できる本市の中核病院となる新病院を整備するため、新病院基本設計に基づいて、来年2月の策定を目途に新病院実施設計業務を行っているところでございます。

また、市民文化センター跡地に、新たに、こども未来館（仮称）を整備するため、同一建物内に整備する男女共同参画センターや平和記念館（仮称）とともに、基本計画を策定

したほか、現在、3施設の建築基本設計に取り組んでいるところでございます。

また、子どもの成長および子育てに関する支援の在り方を定める、高松市子ども条例検討委員会から、10月に最終報告が提出されましたことから、年度内の条例制定に向けて取り組んでいるところであり、今後とも、次代を担う子どもたちが、健やかに生まれ育つ環境づくりに努めてまいりたいと思います。

次に、まちづくりの目標4「人がにぎわい活力あふれるまち」では、瀬戸内海国立公園の一部であり、史跡及び天然記念物にも指定されている屋島の保存・活用による活性化を図るため、有識者などで構成する「屋島会議」から、11月に「屋島活性化基本構想（仮称）最終報告」が提出されました。今後、これを基に、1月末を目途に基本構想を策定するとともに、その基本方針に沿って施策・事業を展開し、「世界に誇れる高松市のシンボルとなる屋島」を目指してまいりたいと思います。

また、コンパクトで持続可能なまちづくりを目指すための「中心市街地活性化基本計画」の計画期間が今年度で終了いたしますことから、現行の基本計画の総括を行うとともに、次期中心市街地活性化基本計画を策定し、引き続き、中心市街地のにぎわいを維持してまいります。

次に、まちづくりの目標5「道州制時代に中枢拠点性を担えるまち」では、昨年春秋航空による高松～上海間の定期便就航に続き、新たに来年3月21日から、チャイナエアラインによる高松～台北間の定期航空路線の開設が決定したところでございます。今後、外国人観光客の更なる増加が期待されますことから、本市の魅力ある観光資源のPRや受け入れ態勢の整備に、県と連携して取り組んでいきます。

また、本市中心市街地活性化基本計画のリーディングプロジェクトとして位置付けている丸亀町商店街G街区再開発事業が3月に竣工し、4月には丸亀町グリーンとしてランドオープンしたことから、本市中心部の新たなにぎわいの拠点となり、更なる中心市街地の活性化が図られるものと期待しております。

最後に、まちづくりの目標6「分権型社会にふさわしいまち」では、新しい公共の担い手として、地域コミュニティ協議会が地域社会の中心的な役割を果たし、地域のまちづくりが活性化するよう、引き続き、地域コミュニティ協議会事務局体制の強化支援を図りました。

また、本市が所有する多くの公共・公用の建築物の施設整備の今後の在り方については、既存施設を有効に活用しつつ、保有総量の適正化や維持管理の効率化、施設の長寿命化を図ることで、維持保全費用の縮減を図るため「ファシリティマネジメント推進基本方針」を策定し、今後の取り組むべき課題とその工程、推進体制などを決めました。

このほか、瀬戸・高松定住自立圏域における連携事業を更に推進するため、4月に、「瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定書」を締結するとともに、さぬき市および東かがわ市とも新たに協定を締結いたしました。この圏域の拡大によりまして、これまでの成果も踏まえ、連携市町間の水平補完を、更に充実し、柔軟かつ弾力的な広域連携を、より一層推進してまいりたいと存じます。

厳しい行財政環境の中ではありますが、このような多くの施策・事業を計画的、効果的に推進することができましたのも、職員皆さんの日々の仕事の積み重ね、たゆみない努力の賜物であると、改めて深く感謝しているところでございます。

歩みは遅々としていますものの、本格的な地方分権改革が進展していく中で、我々、基礎自治体においては、地域の実情に応じた自主的かつ自立的な行財政運営が求められており、また、地域社会におきましても、住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことが必要となっております。国・県・市とある行政機構の、我々は末端ではありません。先端であります。

そのためには、市役所職員一人一人が、市民感覚を大切にし、市民がどう感じ、どう考えているのだろうかという視点を持った上で、市民や地域のニーズを施策・事業に的確に反映させることが、市の職員として第一の仕事であることを認識していただきたいと思えます。また、情報の共有化を図るためにも、職員同士コミュニケーションを活発にし、風通しが良く、生き生きと働くことが出来る職場づくりに取り組んでいただきたいと思えます。

また、職員皆さんには、大変御迷惑をおかけますが、来年1月から職務の級に応じ、最大5%の給料カットを2年間実施いたします。なぜ今なのか、という声もあろうかと思えますが、本市の厳しい財政状況の中で、平成23年の本市のラスパイレス指数は101.4で、中核市の中では11位と比較的高く、県を含めた四国の自治体においても一番高いということ、また、本市では、社会保障費等の負担が年々増大しているため、今年度から

国民健康保険料や介護保険料を大幅に改定し、市民の皆様には負担増をお願いしている、という状況から判断した次第でございます。改めて職員皆さんの御理解と御協力をお願い申し上げます。

さて、明日からは、年末年始の休暇に入ります。ともすれば、気持ちが緩みがちな時期ではありますが、職員の皆様には、くれぐれも、市役所職員としての品位を失うことのないよう注意していただき、御家族とともに、健やかで明るいお正月をお迎えください。

なお、業務の関係から、年末年始に勤務される職員の皆様には、大変、御苦勞様でございますが、どうかよろしく申し上げます。

最後になりましたが、来るべき平成25年が職員の皆様方にとりまして、幸多き輝かしい年となりますことを願ひまして、仕事納めの御挨拶といたします。